

# 第30回全日本室内アーチェリー選手権大会 開催要項

(独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ団体大会開催助成事業)

1. 主催 公益社団法人 全日本アーチェリー連盟
2. 主管 長野県アーチェリー協会
3. 後援 スポーツ庁 長野県(予定) 長野県教育委員会(予定) 公益財団法人 長野県スポーツ協会(予定)  
長野市(予定) 長野市教育委員会(予定) 公益財団法人 長野市スポーツ協会(予定)
4. 日程 2021年 2月13日(土)～14日(日)

日 程	時 間	スケジュール
2月13日(土)	8:45～	第1部(CP男女)受付
	8:50～ 9:30	用具検査
	9:35～ 9:55	競技説明・諸注意
	10:00～10:30	練習
	10:40～13:10	競技(60射 2立で進行)
	13:40～	成績発表・表彰
	11:00～	第2部(RC男子)受付
	12:00～13:00	用具検査
	13:10～13:25	競技説明・諸注意
	13:30～14:00	練習
2月14日(日)	14:10～16:40	競技(60射 2立で進行)
	17:10～	成績発表・表彰
	8:45～	第3部(RC女子)受付
	8:50～ 9:30	用具検査
	9:35～ 9:55	競技説明・諸注意
	10:00～10:30	練習
10:40～13:10	競技(60射 2立で進行)	
13:40～	成績発表・表彰	

- ※ 競技の進行状況により、時間は変更になる場合がある。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小中学生の部は募集いたしません。  
また、マッチラウンドは行わず、18mラウンドのみの競技会といたします。  
その他ご注意ください点がありますので、「16.その他」をよくご確認ください。

5. 会 場 長野市真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)  
〒381-2204 長野県長野市真島町真島2268番地1  
TEL 026-283-7977(代) FAX 026-283-7988  
公共交通機関で・・・JR長野駅東口よりタクシーで約20分  
自動車で・・・長野ICから約15分  
国道18号線(篠ノ井バイパス)大塚南交差点から東へ1.5km

6. 競技種目 インドア 18mラウンド(60射)  
※的紙は縦三つ目標的面を使用する。
7. 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 2020～2021年 ターゲットアーチェリーによる。

8. 参加定員

部門	種別	選考対象	定員
リカーブ部門	男子	前年度優勝者	1名
	女子		1名
	男子	18mインドアラウンド 記録選考	71名
	女子		47名
コンパウンド部門	男子	前年度優勝者	1名
	女子		1名
	男子	18mインドアラウンド 記録選考	31名
	女子		19名
合計			172名

- ※ 参加申込が定員に満たない種別が発生した場合、欠員分は空席とし、他の種別への振り分けは行わない。
- ※ 主管する加盟団体は各部門・各種別1名以内(合計4名以内)の選手を推薦できる。なお、この推薦選手は定員の人数に含まれる。

9. 表彰

部門	種別	表彰
リカーブ部門	男子	1位～8位
	女子	1位～8位
コンパウンド部門	男子	1位～3位
	女子	1位～3位

10. 参加資格

- ① 当該種別の競技日程の全スケジュールに参加可能な者
- ② 2020年度(公社)全日本アーチェリー連盟に競技者登録済みの者。
- ③ シルバーバッジ(インドア)以上の所有者。

- ④ 第29回全日本室内アーチェリー選手権大会優勝者。  
 ⑤ 選考対象期間内に開催された、18mインドアラウンド（60射）全ア連公認競技会において、下記⑥以上の記録を有する者。  
 ※ 30射を数回行い、その中で上位2つの記録を、60射記録としての申請はできない。  
 ⑥ 申請記録

部門	種別	18mインドアラウンド
リカーブ部門	男子	560点
	女子	550点
コンパウンド部門	男子	560点
	女子	550点

#### 1.1. 選考方法

- ① シード選手：第29回全日本室内アーチェリー選手権大会優勝者  
 ② 申請得点の上位の者から選考する。但し、同点の場合は2番目の公認記録が上位の者を選考する。この記録は申請基準点を超えなくて良い。それでも同点の場合は、全国大会→地区大会→都道府県大会の順で選考する。これでもまだ同じ場合は、選考委員の責任において抽選により決定する。  
 ※ 主管する加盟団体は、各部門・種別1名以内（合計6名以内）の選手を推薦できる。

#### 1.2. 選考対象期間

2020年 1月 7日（火）から2021年 1月 4日（月）まで。  
 なお、2019年度第29回全日本室内選手権大会の記録も対象となる。

#### 1.3. 参加費 6,000円

#### 1.4. 申込方法

- ① 前記の資格を有する者は、別紙「個人申請書(単票)」に必要事項を記入して加盟団体へ申し込むこと。  
 ② 「個人申請書(単票)」の提出締切日は、所属する加盟団体(都道府県協会・連盟、全日学連)が指定する期日を厳守して申し込みを行ってください。  
 ③ 「個人申請書(単票)」の提出締切日が不安な時は、所属団体担当者と連絡を取って確認をし、トラブルの発生しないよう注意してください。

#### 1.5. その他

- ① 感染対策の観点から、無観客試合とする。保護者、一般の観客は入場不可とする。また、本大会の定めた範囲での監督・コーチのみの入場を許可する。(選手決定時に通知)  
 ② 全選手参加の開会式、閉会式は行わない。それぞれの種別の拘束時間は「2. 日程」の表の通りとし、受付時間に合わせて来場し、競技終了後はできるだけ速やかに退場すること。  
 ③ 選手は指定された時間に、受付及び用具検査を受け、競技説明・諸注意の時は会場内にいること。  
 ④ 申込期日近くに開催した公認競技会の記録を申請記録とする場合は、FAXまたはE-MAILで仮申請を行うことを認める。但し、速やかにシステムの競技会報告の処理を行うこと。  
 ⑤ 選手はスターバッジ（インドア）および会員カードを必ず携帯すること。  
 ⑥ 本大会では、ドーピング検査を実施する。  
 ⑦ 個人情報の取扱いについては、申請時に加盟団体は選手本人に第18項の内容を示し了解を得ること。  
 ⑧ 競技中の負傷は応急処置のみとし、それ以上の責任は負わない。  
 なお、出場選手については主催者が傷害保険（スポーツ保険）に加入する。  
 ⑨ 納付した参加費は返還しない。

#### 1.6. 選手の心構え

- ① 選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。  
 ② アンチドーピングについて  
 競技者は次の役割と責任を担う。(全日本アーチェリー連盟 アンチ・ドーピング規則 第22. 1項)  
 ・アンチドーピング規則をすべて理解し、遵守すること。  
 ・いつでも検体採取に応じること。  
 ・アンチ・ドーピングとの関連で、自己の摂取物および使用物に関して責任を負うこと。  
 ・禁止物質および禁止方法を使用してはならないという義務を負っていることを医療従事者に対して自らが伝達するとともに、自らが受ける医療処置についても、本規則に基づき導入されたアンチ・ドーピング規範および規則に対する違反に該当しないようにすること。  
 ・自身が過去10年間の間にアンチ・ドーピング規則違反を行った旨の非署名当事者による発見の決定を国内アンチ・ドーピング機関およびWAに開示すること。  
 ・ドーピング調査を実施するアンチ・ドーピング機関のドーピング調査に協力すること。  
 ・競技者がドーピング調査を実施するアンチ・ドーピング機関に協力しないことは、WAの懲戒規則/行動規範に基づき不正行為の請求がなされる可能性がある。  
 【ドーピング検査について】  
 1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。  
 2. 競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。  
 3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA

事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認して下さい。

#### 17. 個人情報の取扱いについて

- ① 使用目的は次のとおり。
  1. 加盟団体への出場決定者選考結果通知。
  2. 大会プログラム作成（大会プログラムは、大会関係者以外に一般及びマスメディアに公開する）。
  3. マスメディア、会場内での参加選手や観客及び加盟団体への成績表の配布並びに送付（ホームページ掲載を含む）。
  4. 大会運営に必要な場内アナウンス、掲示板等への掲示。
  5. 本連盟の公式ホームページおよびFacebookへの画像・映像の掲示。  
なお、掲載されたくない場合は、その旨を事前に本連盟に連絡すること。
- ② 上記以外に利用する場合は、本人に通知し承諾を得る。
- ③ その他個人情報の取扱い（プログラム作成時の印刷業者への委託等）については、本連盟個人情報保護規程に基づき行う。

#### 18. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

新型コロナ感染拡大の防止について、次の各項にご協力ください。

- ① 以下の各事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
  - ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 必ずマスクをご持参ください（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用してください）。
- ③ 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)や各地域で取り組まれている通知サービスを活用してください。
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m以上）を確保してください）。
- ⑥ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないでください。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。
- ⑧ 競技終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。



**スポーツ振興基金助成事業**

独立行政法人日本スポーツ振興センター